別紙

 　　　　　　　　　　　　　実施計画書

１　企業等の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | （ﾌﾘｶﾞﾅ） |  |  |
| 企業名等 |  |
| （ﾌﾘｶﾞﾅ） |  |
| 代表者名 |  |
| 事業所所在地（熊本県内全事業所） |  |
| 連絡担当者 | 部署名 |  | 役職名 |  |
| 氏名 |  | E-mail |  |
| ＴＥＬ |  | ＦＡＸ |  |
| 設立年月日 | 年　月　日 | 資本金 | 千円 |
| 従業員数 | 常用　　人、非常用　　人 | ＵＲＬ | http:// |
| 事業内容 | (1)主たる事業、業種(2)主たる商品名又は役務名(3)新たな事業分野の開拓予定 |

２　新商品等の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |
| 開発開始時期 | 　年　　月 | 販売・提供開始時期 | 　年　　月 |
| 新商品等の概要 | ※200字以内で簡潔に記載。この内容は公開用に使用予定。 |
|  |
| 第５条（１）に係る新規性・先進性・独自性の内容 |
| ※新商品等のパンフレット、写真、図面等を添付。試験データがあれば必ず添付。 |
| 第５条（２）に係る技術の高度化、経営能率の向上、住民生活の利便の増進に寄与する内容 |
| ※住民生活の利便の増進については、健康増進、環境等を記載事項とし、具体的に記入すること。 |
| グリーン購入方針の対象 | グリーン購入方針の調達対象品の場合 |
| 該当　・　非該当 | 適・不適 |
| 販売価格又は取引価格 | Ａ単価 | 円 | 単位 |  |
| Ｂロット |  |
| Ｃ県への販売予定価格（Ａ×Ｂ） | 円 |

|  |  |
| --- | --- |
| 年間維持費 | 千円 |
| 標準納期 | 日 |
| 知的財産権の取得状況（申請中を含む） | 取得時期・番号 |  |
| 特許等の名称 |  |
| 出願人 |  |
| 過去の売上状況 | 年月 | 販売・提供先 | 販売・提供単価 | 販売・提供数 | 売上額 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 他社商品等との競合状況及び優位性 |  |
| ※新規性等の品質、価格、納期等の見地から具体的に説明。 |
| 市場性 | ※販路開拓が可能と想定している分野、市場規模等について説明。 |
|  |
| これまで流通しなかった理由 |  |
|  |

３　新商品等の生産・提供及び販売

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 今後３年間の生産・提供目標及び生産・提供時期 | 決算期 | 年　月期 | 年　月期 | 年　月期 |
| 生産・提供数量 |  |  |  |
| 生産・提供額 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 生産・提供の実施方法 | （１）生産・提供方法※新製品にあっては、自社生産、共同生産、委託生産等について具体的に記入。※新役務にあっては、自社提供等について具体的に記入。（２）資材部品等の調達概要（３）生産・提供に必要な機械設備の概要（４）生産・提供場所（５）その他 |
| 出荷・流通、提供、販売方法等 |  |
| その他特記事項 |  |

４　新商品等の生産・提供に必要な資金の額及び調達方法

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 年　月期 | 年　月期 | 年　月期 | 備考 |
| 〈必要な資金の額（内訳）〉 |
|  | ①原材料費 |  |  |  |  |
| ②機械装置・工具器具費 |  |  |  |  |
| ③外注加工費 |  |  |  |  |
| ④技術指導受入費 |  |  |  |  |
| ⑤直接人件費 |  |  |  |  |
| ⑥市場調査・広報宣伝費 |  |  |  |  |
| ⑦その他経費 |  |  |  |  |
| 合計（a） |  |  |  |  |
| 〈必要な資金の調達方法（内訳）〉 |
|  | ①自己資金 |  |  |  |  |
| ②借入金 |  |  |  |  |
| ③投資 |  |  |  |  |
| ④補助金・助成金 |  |  |  |  |
| ⑤その他 |  |  |  |  |
| 合計（b） |  |  |  |  |

【記載要領】１．合計（a）と（b）は一致すること。

２．備考欄に資金調達方法のうち②借入金、③投資については、その機関の名称を、④補助金・助成金の場合には具体的補助事業名を記入すること。

５　県の機関における使途の提案

|  |
| --- |
| （１）想定される分野 |
| □県全般　　　□福祉分野　　□環境分野　　□農林水産分野□商工分野　　□土木分野　　□教育分野　　□警察分野□その他（　　　　　　　　）※該当するものをチェックしてください。 |
| （２）具体的な使用例 |
| ※県の機関（本庁、出先機関、福祉施設、県立図書館、県立美術館、試験研究機関、県立学校、県警本部等）における使途の例についてできるだけ詳しくご提案ください。県の庁舎等における使用と事業における使用のどちらでも構いません。※新商品等と代替えが可能と思われる従来の商品等が公的機関で実際に利用されている事例があれば併せてご記入ください。 |
| （３）期待できる効果 |
|  |